

地域問題特論V

担当者 南方 建明

開講時期 後期

単位 1

●講義の概要

地域商業政策は、「調整政策」と「振興政策」に大別される。「調整政策」では、2000年に大規模小売店舗法が廃止されるまでの約半世紀にわたって、中小小売店の保護を目的とした大型店の出店規制が行われてきた。他方、「振興政策」は中小小売商業振興法に基づく商店街への支援を中心とする地域商業振興政策から、中心市街地活性化など「まちづくり政策」へとその政策対象が拡大している。本講義では、小売業の規模構造、業態構造、立地構造の観点から小売商業構造の変化過程における地域商業政策の役割を明らかにする。

●講義の到達目標

地域商業政策と小売商業構造の変化過程との関係について学ぶ。

●講義計画

- 第1回 わが国における地域商業政策変遷の歴史
- 第2回 流通調整政策（第二次百貨店法、大規模小売店舗法）
- 第3回 地域商業振興政策（中小小売商業振興法）
- 第4回 まちづくり政策（中心市街地活性化法）
- 第5回 イギリスに学ぶまちづくり（TCM、BID）
- 第6回 地域商業政策と小売商業構造

●成績評価基準と方法

受講生による報告と期末のレポートにより総合的に評価する。その割合は、報告40%、レポート60%とする。

●テキスト又は参考文献

テキスト

南方建明『日本の小売業態構造研究』御茶の水書房、2019年

南方建明『現代小売業の潮流』晃洋書房、2023年

参考文献

南方建明『流通政策と小売業の発展』中央経済社、2013年
南方建明『日本の小売業と流通政策』中央経済社、2005年

●受講上の留意点

指示された文献をあらかじめ熟読し、議論への参加を求める。